【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和7年3月5日(2025.3.5)

【公開番号】特開2024-178448(P2024-178448A)
【公開日】令和6年12月24日(2024.12.24)
【年通号数】公開公報(特許)2024-241
【出願番号】特願2024-169653(P2024-169653)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ 10/04(2006.01)
Ｈ０１Ｍ 10/0585(2010.01)
Ｈ０１Ｍ 10/0566(2010.01)
Ｈ０１Ｍ 50/463(2021.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ 10/04 Ｚ
Ｈ０１Ｍ 10/0585
Ｈ０１Ｍ 10/0566
Ｈ０１Ｍ 50/463 Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月25日(2025.2.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
正極、負極、および前記正極と負極の間に介在する分離膜を含み、両側最外面には前記分離膜が位置している積層体；を含み、
前記分離膜は収縮時に収縮方向および経路を誘導する少なくとも一対の切欠溝を含み、
前記一対の切欠溝は電極タブの突出方向と垂直な一面と、その対角線方向に位置する他面に一つずつ形成されており、
前記一対の切欠溝は前記正極の正極活物質層と前記負極の負極活物質層が露出しない大きさで形成される、二次電池用電極組立体。
【請求項２】
前記切欠溝は２対以上形成されており、前記切欠溝は前記電極タブの突出方向と垂直なそれぞれの面に対角線方向、および一直線方向になるように形成されている、請求項１に記載の二次電池用電極組立体。
【請求項３】
前記切欠溝は前記電極タブの干渉を受けない位置に形成されている、請求項１または２に記載の二次電池用電極組立体。
【請求項４】
前記切欠溝の平面上形状はスリット形、多角形、円形、または楕円形である、請求項１から３のいずれか一項に記載の二次電池用電極組立体。
【請求項５】
前記切欠溝の平面上形状はスリット形または三角形である、請求項４に記載の二次電池用電極組立体。
【請求項６】
前記積層体の両側最外面に位置する前記分離膜の間の固定のために積層方向に付着した

２対以上の固定部材をさらに含み、
前記固定部材はポリイミド（Ｐｏｌｙｉｍｉｄｅ）を含む、請求項１から５のいずれか一項に記載の二次電池用電極組立体。
【請求項７】
前記固定部材は前記電極タブの突出方向と平行な両側面に互いに向かい合う位置で一対の固定部材が付着しており、他の一対以上の固定部材は前記一対の固定部材と離隔した位置で前記電極タブの突出方向と平行な両側面に互いに向かい合う位置で付着している、請求項６に記載の二次電池用電極組立体。
【請求項８】
前記二次電池用電極組立体はラミネーション・アンド・スタック型電極組立体、またはスタック・アンド・フォールディング型電極組立体である、請求項１から７のいずれか一項に記載の二次電池用電極組立体。
【請求項９】
請求項１から８のいずれか一項に記載の二次電池用電極組立体が二次電池ケースに電解液と共に内蔵されている、二次電池。